

市町村名	南大東村
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 月見ちゅら島公園機能強化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	土木課	事業実施(予定)年度	24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	- 1 - (1)

事業内容
 本村の観光振興を図るためには、更なる体験型観光の環境整備が必要である。そこで、カヌー体験地点の月見橋周辺を中心に美化緑化の推進や、月見ちゅら島公園内に遊具・健康器具を設置し観光客等が憩いの場としての整備を図る。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	41,100			
(b)予算現額	41,100					
(c)増減額(b-a)	0		0			
(d)繰越額	-		38,160			
A.計(b+d)	41,100		38,160			
B.執行済額	2,940		38,159			
うち交付金充当額	2,352		30,528			
次年度繰越額	38,160		0			
執行率(%) (B/A)	7.2%		100.0%			
予算の状況の説明	工事費については、施工条件等により翌年度への繰り越しとなった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
月見ちゅら島公園内への遊具・健康器具の設置	目標	(公園機能強化整備一式)	()	()	()	
	実績	公園機能強化整備一式				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	設計施工により予定どおりの遊具・健康器具等が設置された。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			月見ちゅら島公園内への遊具・健康器具の設置	目標	()	(公園機能強化整備一式)
	実績		公園機能強化整備一式			
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	既存施設に設置している器具等の老朽化、使用不能等により施設の利活用がなされていない状況にあった。施設整備したことにより、安心安全な公園として家族親子連れや観光客等の利用が見られるようになった。					

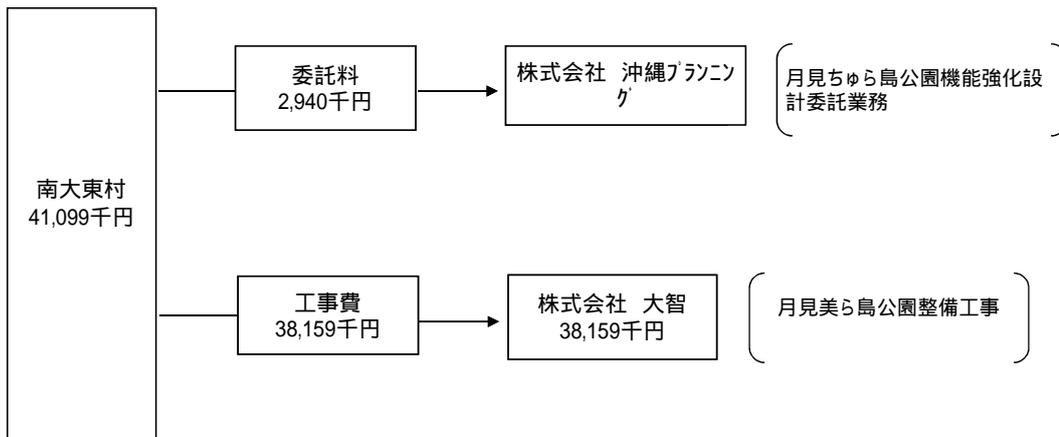
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	器具、遊具の設置に関して意見聴取が出来なかった。施設の一部を花壇に変更し美化を創出意見があった。	施設をPR、利活用を推進する目的でイベント等を開催する。花などを植栽し車窓からでも楽しめる景観を造る。

今後の取り組み方針

美化清掃を徹底管理し公園利用者を増やし、憩いの場、健康増進の場として多くの人に愛される公園を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
41,099	41,099	32,800	8,299	0



資金の流 れ、費 目、 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	・業者選定においては指名競争入札を実施しており妥当であったと考える。 ・設計委託費、整備工事費目については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	南大東村
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	2 - 大池地区水辺環境保全整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部課名	産業課	事業実施(予定)年度	24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 - 1 - (1)

事業内容
本村には多くのカルスト湖が点在し、その中でも大池と呼ばれる池が最大規模となっている。現在の大池は水草が繁茂し景観を損なうとともに、生態系への影響や環境保全の点からも課題となっている。そこで水草除去、水路汚泥浚渫、危険防止の橋梁を新設し、大池にカヌー体験プログラムを導入するなどして、新たな観光資源の開発を図る。

実施方法	直接実施	委託	補助	負担	その他 ()
-------------	------	----	----	----	---------

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	74,098			
(b)予算現額	75,105					
(c)増減額(b-a)	1,007		0			
(d)繰越額	-		37,526			
A.計(b+d)	75,105		37,526			
B.執行済額	37,579	37,526				
うち交付金充当額	30,042	30,042				
次年度繰越額	37,526					
執行率(%) (B/A)	50.0%	100.0%				
予算の状況の説明	工事費については、施工条件等により翌年度への繰り越しとなった。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
		24年度	25年度	26年度	27年度	
大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫	目標	(水草の除去 水路汚泥浚渫)	()	()	()	
	実績	水草の除去 水路汚泥浚渫				
	目標	()	()	()	()	
	実績					
達成状況説明	計画どおりの水草の除去、水路汚泥浚渫を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)	基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
			大池地区水辺環境の保全・再生 水草の除去 水路汚泥浚渫	目標	()	水草の除去 水路汚泥浚渫
	実績		水草の除去 水路汚泥浚渫			
[参考指標]	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	計画どおりの水草の除去、水路汚泥浚渫を行った。					

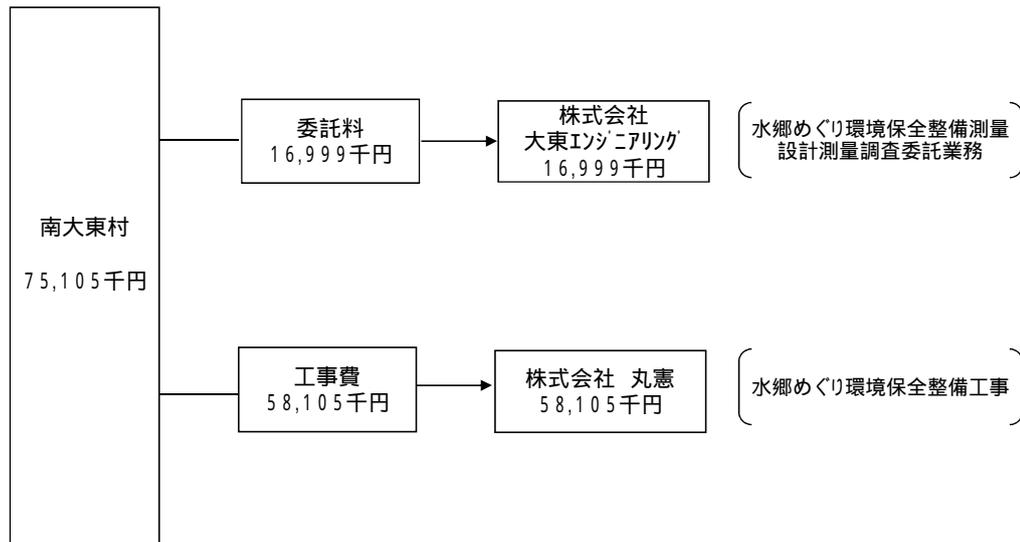
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	水草の除去、汚泥の浚渫は予定どおり竣工できているが、除去、浚渫したあと周辺から進入してきている。	水草の除去は水路面積以上を除去することにより施工後への進入を鈍化抑制することができる。

今後の取り組み方針

本事業は特殊作業等により事業費用が大きく継続事業として計画施工しているが、優先事業として位置づけられてなく、年度計画の下位で調整事業的に置かれ計画施工が出来ていない。早期完了を目指す必要があることから事業費を確保し計画施工を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
75,105	75,105	60,084	15,021	



資金の 用途の流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	指名競争入札方式を採用しており選定方法は妥当であったと考える。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算規模は、事業内容に見合った適正な規模であると考えられる。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	受益者との負担関係なし
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途については、事業目的に即しているものと考えられる	

市町村名	南大東村
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	3 -	防災サイン等整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ
担当部課名	総務課	事業実施(予定)年度	24年度	災害に強い県土づくりと防災体制の強化
			沖縄振興基本方針該当箇所	-10-(2)

事業内容
 本村の地域特性をふまえて、地域防災対策を行う必要があることから、遠隔離島の不利性を考慮し備蓄食糧と防災保管倉庫の確保を実施する。また避難場所のトイレ、防災道具保管庫等の整備を行うことにより観光客への利便性と安心安全の確保を目的とする。

実施方法
 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	37,149			
(b)予算現額	47,076					
(c)増減額(b-a)	9,927		0			
(d)繰越額	-		8,986			
A.計(b+d)	47,076		8,986			
B.執行済額	38,090		8,986			
うち交付金充当額	30,472		2,988			
次年度繰越額	8,986					
執行率(%) (B/A)	80.9%		100.0%			
予算の状況の説明	当初備蓄倉庫及びトイレの整備を予定していたが、倉庫への機材搬入や避難所の駐車スペースが必要と判断し3360千円の増額となった。天候不良等の理由により年度内で工事が完了出来なかったため、8986千円次年度に繰り越した。					

活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)	達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度
		防災サインの設置	目標	海拔表示板:60箇所 避難場所表示板1箇所	()	()
	実績	海拔表示板:60箇所 避難場所表示板1箇所				
	備蓄食料の整備:1600人×2食分 備蓄倉庫の整備:2箇所 防災避難場所の整備:トイレ、駐車場、進入道路	目標	備蓄食料の整備:1600人×2食分 備蓄倉庫の整備:2箇所 トイレ、駐車場、進入道路	()	()	()
	実績	備蓄食料の整備:1600人×2食分 備蓄倉庫の整備:2箇所 トイレ、駐車場、進入道路				
達成状況説明	H24年度中に標高表示版の設置、備蓄資機材の購入、防災無線電源配管工事、防災マップ作成が完了。H25年度に備蓄倉庫、避難所トイレの工事及び避難所表示板の設置が完了し、備蓄資機材の搬入を行った。					

成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)		
			防災サインの設置	目標	()	海拔表示板:60箇所 避難場所表示板1箇所	()	()	()
				実績		海拔表示板:60箇所 避難場所表示板1箇所			
	備蓄食料の備蓄:3200食 備蓄倉庫の建設:2箇所 トイレ、駐車場、進入道路の整備	目標	()	備蓄食料の整備:3200食分 備蓄倉庫の整備:2箇所 トイレ、駐車場、進入道路	()	()	()		
	実績			備蓄食料の整備:3200食分 備蓄倉庫の整備:2箇所 トイレ、駐車場、進入道路					
進捗状況説明	H24年度中に標高表示版の設置、備蓄資機材の購入、防災無線電源配管工事、防災マップ作成が完了。H25年度に備蓄倉庫、避難所トイレの工事及び避難所表示板の設置が完了し、備蓄資機材の搬入を行った。								

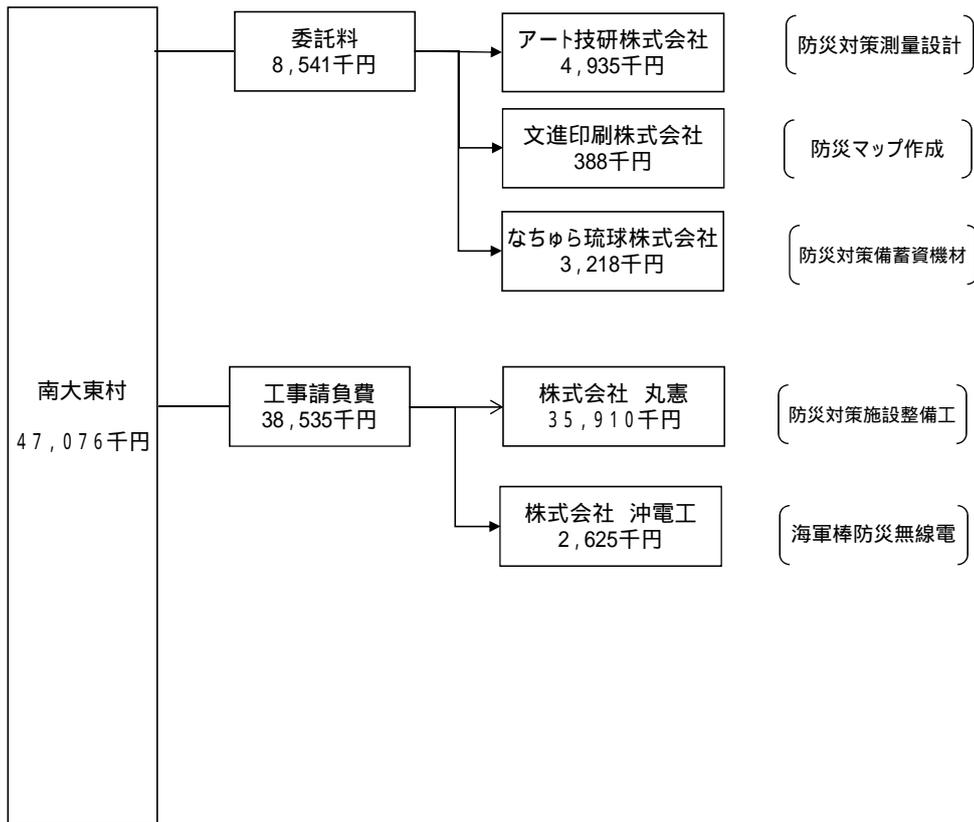
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・年度後半からの工事発注になったので時間に余裕がなかった。 ・天候不良による工期の延長が続いてしまった。	・設計を年度の初めで完成させ、工事期間を余裕をもって設定することが必要。 ・資材搬入において船でしか運べないので、搬入の期間も考慮し工事の発注を行わないといけな。

今後の取り組み方針

備蓄資機材の確認を定期的に行い、有事に備える。備蓄食料に関しては賞味期限に気を付け、更新を行えるようにする。また、今後も必要と思われる資機材があれば導入していく。機材は定期的に動作確認を行うと共に使用方法等の習得、技術の向上を目指す。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
47,076	47,076	33,460	13,616	



資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託業者、工事請負業者においては村内で実績のある事業者を選定し指名入札となった。 費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
		受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	5 - 仮戸籍電算化事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-イ
担当部課名	福祉民生課	事業実施（予定）年度	平成24年度～平成25年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	高度情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供 - 6

事業内容
臨時戸籍簿（沖縄の特殊事情による戸籍）をセットアップし、滅失防止するとともに保管、管理の強化を図ることを目的に戸籍電算化システムの構築を行う。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	45,457	0		
(b)予算現額	28,613	0				
(c)増減額(b-a)	16,844	0				
(d)繰越額	-	1,451				
A.計(b+d)	28,613	1,451				
B.執行済額	27,161	1,451				
うち交付金充当額	19,178	0				
次年度繰越額	1,451	0				
執行率(%) (B/A)	94.9%	100.0%				
予算の状況の説明	交付金充当分を除くシステム（現在戸籍、現在附票）を構築し、その他の昭和・平成改製原、除籍、改製原附票については翌年繰越となる。					

活動目標（指標）及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
戸籍システムの一部を電算化し、基盤を構築（現在戸籍、現在附票）	目標	年度内システム稼働	()	()	()
	実績	H24年3月25日システム稼働			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	現在戸籍、現在附票のシステム化を行い、戸籍書類の一部を電算化した。				

成果目標（指標）及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
			戸籍システムの一部を電算化し、基盤を構築（現在戸籍、現在附票）	目標	()	年度内システム稼働
	実績		年度内システム稼働			
【参考指標】平成25年3月25日から戸籍の一部電算化システム稼働。	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	臨時戸籍電算化の基礎となるシステム構築が終了した。					

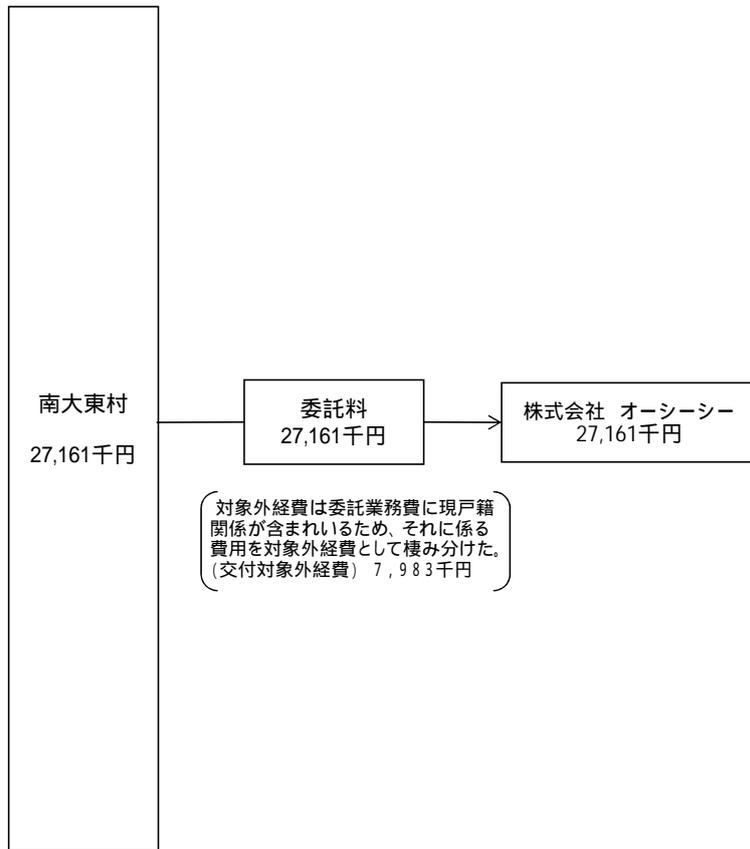
	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	電算化に伴い、紙媒体の戸籍にいくつか誤記がみつき、電算化作業に少々時間を要し、交付金充当外の書類については翌年度対応となった。	電算化に伴い、格段と戸籍処理がスムーズに実施可能となったが、戸籍処理にてヒューマンエラーを少なくする事も引き続き重要である。

今後の取り組み方針

臨時戸籍のセットアップを行える環境が整った。
 戸籍の証明書発行、または確認がスムーズに行えることで窓口での待ち時間や対応時間が削減された。
 また戸籍に関する各政府関係機関からの問い合わせについてもスムーズ且つ正確に行えるようになった。
 紙媒体による保存から電子化により、書類の紛失・汚損から守ることができるようになった事も大きな改善点である。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
27,161	19,178	15,342	3,836	7,983



資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明
用途の流 点検 評価 費目		支出先の選定方法は妥当か。	戸籍電算化という特殊なシステムを受注、実施が可能な委託業者3社へ見積もりを依頼していたが、2社は実施不可とのことで辞退した為、残り1社の発注となった。 予算規模、費目・用途については事業目的に沿った内容であり、積算精査・竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村
------	------

平成24年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	6 - 廃棄物ストックヤード整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章 - 1 - (2) - ア
担当部課名	福祉民生課	事業実施（予定）年度	24年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	3Rの推進 - 9

事業内容
産業廃棄物の沖縄本島への搬出一時保管施設を整備し、搬入、搬出を管理し、産業廃棄物の適正な処理による景観等の保全を目指します。

実施方法
直接実施 委託 補助 負担 その他（ ）

予算額・執行額 【単位：千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）	予算の状況	24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度
		(a)当初予算額	30,000			
(b)予算現額	30,000					
(c)増減額(b-a)	0					
(d)繰越額	-		26,310			
A.計(b+d)	30,000		26,310			
B.執行済額	3,690		26,310			
うち交付金充当額	2,956		21,044			
次年度繰越額	26,310		0			
執行率(%) (B/A)	12.3%		100.0%			
予算の状況の説明	工事費については、規制解除等により翌年度への繰り越しとなった。					

活動目標（指標） 及び達成状況	H24活動目標（指標）	達成状況			
		24年度	25年度	26年度	27年度
土質調査、実施設計、路盤工事、外構工事の実施	目標	土質調査、実施設計、路盤工事、外構工事の実施	()	()	()
	実績	土質調査、実施設計、路盤工事、外構工事の実施			
	目標	()	()	()	()
	実績				
達成状況説明	南大東村廃棄物ストックヤード整備に係る実施設計に伴い計画敷地内にある保安林解除、雑木等の伐採を行い南大東村ストックヤード整備する事ができた。				

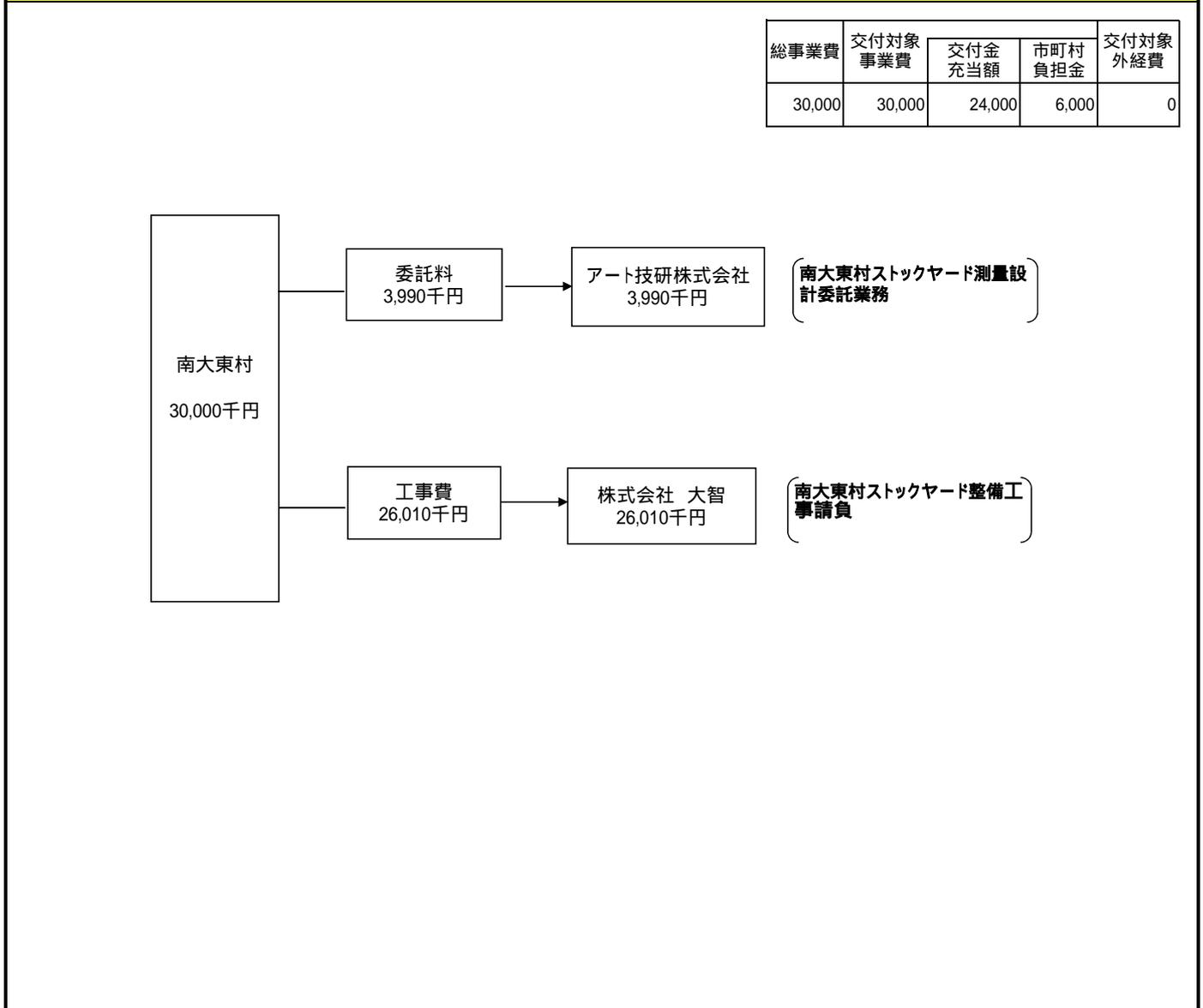
成果目標（指標） 及び進捗状況	H24成果目標（指標）	基準値（年度）	24年度	25年度	26年度	目標値（年度）
			目標	()	土質調査、実施設計、路盤工事、外構工事の実施	()
実績			土質調査、実施設計、路盤工事、外構工事の実施			
【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
	実績					
進捗状況説明	平成25年11月完成、12月より施設内の使用開始により、現在14事業所のうち5事業所が活用している。また、ストックヤードに搬入できる産業廃棄物の品目を村と事業所で取決めて使用させている。対象になる主な産業廃棄物は、廃棄自動車；伐開から（トン袋詰）；鉄鋼類；バッテリー（盤木積）等を対象に現在、南大東村ストックヤードに期限を取決め管理されている。なお、事業所や個人が使用する場合、村では事前に申請書の提出、審査、許可の有無を判断する事で南大東村ストックヤードが適正且つ持続可能な運営できる体制を整えている。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	南大東村ストックヤード施設が完成後、施設内に搬入された産業廃棄物は多種にわたり、効率的に廃棄物の搬出を行う為の廃棄物区分の取り決め、施設運営に伴う施設管理の取決めに時間を要した。	事業所毎に聞き取り調査を行い、事業所でストックする分野と南大東村ストックヤードでストックする分野に分けることで循環的効率性のよい使用方法が構築された。また、施設を使用する場合は村役場に申請、審査、許可することにより利用者の実態を把握することで施設維持管理が徹底されている。

今後の取り組み方針

平成25年度より事業所毎で使用許可を出しているが施設内にストックする場合、期限を設けているため期限内に搬出できていない事業所に対しては指導を行い適切な施設の運営、維持管理に努める。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の流れ、費目・	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託請負事業者、工事請負業者の選定は、村への指名参加名簿より企業組織、実績、知識等を指名競争入札委員会で適正に審査しております。 予算規模、費目・用途については事業目的に沿った内容であり、積算精査・竣工、支出等に関する書類により確認、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
		費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		南大東村					
平成24年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7 -	ボロジノ島歴史文化保存事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会	事業実施(予定)年度	24年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり		
事業内容	島の歴史文化等の貴重な資料を、後世に伝えると共に教材や観光関係にも活用するためデジタル保存・製本化を実施した。						
実施方法	直接実施 委託 補助 負担 その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	24年度(繰越)	25年度	26年度	27年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	10,500	0			
		(b)予算現額	9,975	0			
		(c)増減額(b-a)	525	0			
		(d)繰越額	-	3,990			
		A.計(b+d)	9,975	3,990			
	B.執行済額		5,985	3,990			
	うち交付金充当額		4,788	3,192			
	次年度繰越額		3,990				
	執行率(%) (B/A)		60.0%	100.0%			
予算の状況の説明		島の行事や祭事等他、季節の風景等の記録保存を行うにあたり、長期に渡る撮影期間と製本業務を要するため、期間変更に伴い3,990千円を次年度へ繰り越した。					
活動目標(指標)及び達成状況	H24活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化資源をデジタル保存・印刷製本の実施。	目標	(デジタル保存・製本の印刷実施)	()	()	()	
		実績	デジタル保存・印刷製本の完成				
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	既存の来歴写真集、展示資料、伝統行事、祭事の、名所や名物を記録撮影し、デジタル保存及び製本化を実施したことにより、半永久的な保存が可能になり、学校教育、社会教育及び観光産業振興にも活用が図れ、後世に伝えることができる。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H24成果目標(指標)		基準値(年度)	24年度	25年度	26年度	目標値(年度)
	文化資源をデジタル保存・製本化の実施。	目標	()	(デジタル保存・製本)	()	()	()
		実績		デジタル保存の完了・製本の作成			
	[参考指標]		目標	()	()	()	()
			実績				
	進捗状況説明	平成24年度中に来歴写真集やふるさと文化センター展示資料等の撮影と仮製本を実施し、説明用の文言や写真や資料等の二重掲載等が無いが確認を実施し、平成25年度は島の祭事や伝統行事、名所・名物・特産費等の記録撮影を実施し、デジタル保存と印刷製本にて完成した。					

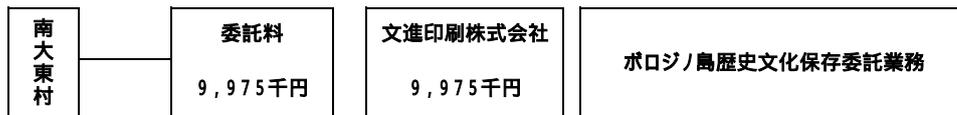
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・デジタル保存・印刷製本を実施する上で、大まかな説明や文言は既存の資料等で確認し掲載することができたが、来歴写真集の確実な年代、島の行事や祭事等の由来などの詳細が確認できない部分も多少あった。	詳細が確認できない部分において、後に発見した場合はその都度、綿密に記録し、村の単独事業等で追加版の発行を検討していきたい。

今後の取り組み方針

文化資源をデジタル保存・製本化することで、確実に保存できる環境を整えると共に、学校教育や社会教育において後世に伝え又、島外からの来客等へ、島を紹介する資料として観光産業振興にも活用していきたい。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
9,975	9,975	7,980	1,995	



資金の流 れ、費目 ・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
		支出先の選定方法は妥当か。	委託事業者との契約に基づく事業内容は、着手から完成に至るまでの経緯は妥当であると考えている。又、費目・用途についても成果目標・今後の取組状況も含め、事業費支出における関係書類の診査及び確認の結果、適正であった。
		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		